

令和6年度 シラバス

教 科	芸術	学科・学年	全学科 第1学年(選択)	単位数	2 単位
		教科書	高校生の美術1 (日本文教出版)		
科 目	美術I	副教材	なし		
科目の目標	(1) 美術の諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み必要な技術を身に付けるようにする。 (2) 自分の良さ、友達の良さを発見する。 (3) 創造していく態度を養う。				
評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【主】		
趣 旨	対称や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化にたいする見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。		

学期	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	主		
一 学 期	1 美術とは何か	○美術の諸活動を通して、自分の美術を大切にできるように意識を高める。	○			・ 価値意識を持って美術や美術文化にたいする見方や感じ方を深め主題を追究し表現を創意工夫し、見方や感じ方を深められている。	発言、ワークシートの記述  活動の様子 作品
	2 絵画「手」	○造形のよさや美しさを感じ取り、表現の工夫について考察する。					
	3 デザイン「レタリング」	○伝えたいメッセージを想起させ、整理して創造的に表現する。					
	4 デザイン「ポスター」	○魅力的に情報伝達し創造活動に主体的に取り組む。					
	5 鑑賞	○作者の心情や意図を理解し良さに気付いている。					
二 一 学 期	6 彫刻「身近な素材と立体表現」	○素材の特性を生かして、表現方法を創意工夫し、創造的に表現する。	○			・ 表現形式の特性をいかし、造形的なよさや美しさ表現の意図と創意工夫、美術の働きなど見方や感じ方を深めている。	発言、ワークシートの記述  活動の様子 作品
	7 生活を彩る模様	○模様には豊かな彩る機能があることを理解する。					
	8 鑑賞	○作者の心情や意図を理解し良さに気付いて鑑賞する。					
三 学 期	9 暮らしの中の使うデザイン	○機能や効果、美しさについての理解を深め創造活動を味わう。	○			・ 主体的に美術の創造的な活動に取り組もうとしている。	発言、ワークシートの記述  活動の様子 作品
	10 絵画	○創造活動を通して表現する喜びを深める。					